



サステナビリティ研究 オープンセミナー 第2回

～世界の食と農～

2023年 12月2日 (土) 13:00-15:30



石川 博樹

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授

「アフリカ食文化史研究が
問いかけるもの」



千年 篤

東京農工大学
大学院 農学研究院 教授

「ガーナにおけるカカオ栽培：
遷移型アグロフォレストリー導入の可能性」



佐藤 証

電気通信大学
大学院 情報理工学研究科 教授

「AI・IoT技術を活用した
スマート都市農業・養蜂」

参加申込方法 参加費無料 どなたでも参加できます

当日参加も可能ですが、会場設営の関係上、なるべく右記URL
またはQRコードから事前申し込みをお願いします。
*同時通訳を利用される方は、事前申込が必要です。



<https://peatix.com/event/3754432>

会場 東京農工大学 小金井キャンパス 140周年記念会館 (エリプス) 3階多目的ホール

言語 日本語・英語 (同時通訳あり)

Zoomによる同時通訳です。同時通訳を利用される方は、①Wifiに接続可能なPCやスマートフォン等の機器、及び②イヤホンをお持ちください。

お問い合わせ先 西東京三大学共同サステナビリティ国際社会実装研究センター

●Email: department@go.wt-jdpsr.jp ●Website: <https://web.tuat.ac.jp/~jcsri>

サステナビリティ研究オープンセミナー 第2回 ～世界の食と農～

2023年12月2日（土） 13:00-15:30 東京農工大学 小金井キャンパス

プログラム

千年 篤 東京農工大学 大学院 農学研究院 教授

「ガーナにおけるカカオ栽培： 遷移型アグロフォレストリー導入の可能性」

気候変動の影響を受けてカカオ生産激減のリスクに直面しているガーナでは、その対応策としてアグロフォレストリーの導入が期待されている。本報告では、持続可能性の観点から、ブラジル・アマゾンで日本人移住者及びその子孫によって開発された遷移型アグロフォレストリーのガーナへの導入の可能性について考察する。

石川 博樹 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授

「アフリカ食文化史研究が問いかけるもの」

エチオピアの「酸っぱいパンケーキ」インジェラを事例として、アフリカの食文化史研究が現代社会に問いかけるものについて考える。

佐藤 証 電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 情報・通信工学専攻 教授

「AI・IoT技術を活用したスマート都市農業・養蜂」

ビルの屋上で、IoTやAI技術を活用した遠隔管理によるスマート都市農業・養蜂の研究を進めている。土を使わない水耕栽培でトマトやイチゴなどの果菜類を育て、蜂はその受粉を担っている。都市国家シンガポールで展開している同国最大規模の施設についても紹介する。

〈主催〉

西東京三大学共同サステナビリティ国際社会実装研究センター



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies



国立大学法人
東京農工大学



国立大学法人
電気通信大学
The University of Electro-Communications